

予防しよう MTBI

赤ちゃんを強く揺さぶらないようにしましょう。

体格にあったチャイルドシート、シートベルトを使用しましょう。

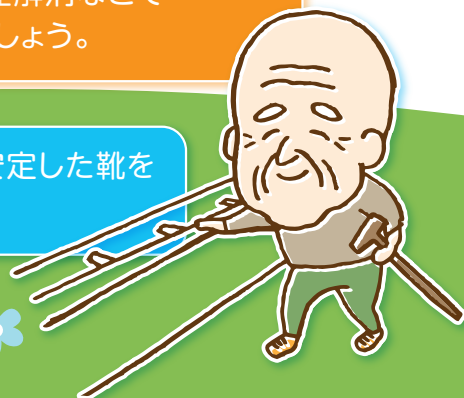
イスやベビーカーでは、ベルト等を使用し、転落を防ぎましょう。

自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。

スポーツでは防具を適切に使用しましょう。

室内の整理、じゅうたん・マットの滑りどめ、段差解消などで転倒を防ぎましょう。

脱げにくく、安定した靴をはきましょう。



理解と支援

MTBI と診断されないまま、様々な症状に悩まされている方がいます。事故後の後遺症による日常生活や社会生活のしづらさについて、私たち一人ひとりの理解と支援が求められています。

お問い合わせ・相談

目黒区高次脳機能障害者支援センター
NPO法人いきいき福祉ネットワークセンター内

☎ 6808-8575
FAX 6808-8576

精神保健に関する相談

▶ 地域保健課 保健相談係
☎ 5722-9504 FAX 5722-9508

精神障害者保健福祉手帳に関する相談

▶ 保健予防課 保健管理係
☎ 5722-9396 FAX 5722-9890

身体障害者手帳に関する相談

▶ 障害者支援課 身体障害者相談係
☎ 5722-9850 FAX 3715-4424

脳を守ろう MTBI

Mild Traumatic Brain Injury

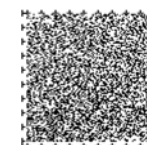
エムティービーアイ

軽度外傷性脳損傷



MTBIを理解しよう

交通事故や外傷などで、頭を直接打ったり、または頭が前後左右に揺れると、脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがあります。



軽度外傷性脳損傷とは…

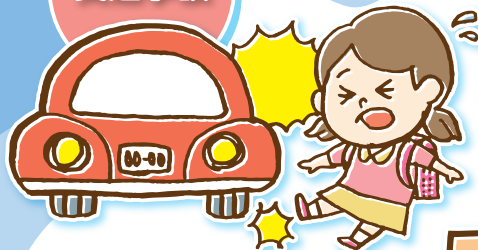
Mild Traumatic Brain Injury エム ティー बी アイ

主な原因



スポーツ
外傷

交通事故



高所からの
転落

転倒



暴力



乳幼児の
揺さぶり

主な症状

感覚障害

- ▶ 味覚・嗅覚の障害
- ▶ かすみ目（目がチカチカ）
- ▶ 耳鳴り

高次脳機能障害

- ▶ 注意散漫
- ▶ 集中できない
- ▶ 記憶できない
- ▶ 言葉がうまく話せない
- ▶ 理解ができない

精神・行動変化

- ▶ 依存的
- ▶ 過敏
- ▶ 情緒不安定（いらいら、うつ）
- ▶ 固執傾向

身体障害

- ▶ 平衡感覚障害
- ▶ 嚥下障害

自律神経症状

- ▶ 吐き気
- ▶ めまい
- ▶ 頭痛
- ▶ 睡眠障害

診断

30分以内の意識消失、24時間未満の健忘症などの「軽度」の意識障害後に生じる様々な症状があります。

また、画像検査（MRIなど）でも異常が写らないことが多く、診断が確立していないため、神経学的検査を含む検査と、脳神経外科、神経内科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神科、リハビリテーション科などの協力による総合的な診察が必要になります。

記憶障害、頭痛、めまいなど事故前と異なる症状が持続するときには、事故から時間が経っていても、各専門医療機関の受診をお勧めします。

